

事業実績シート

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	アルバカーキ市との青少年交流事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	佐世保市	企画部 国際政策課	大山	0956-25-9647
事業期間	開始年	米国アルバカーキ市(姉妹都市) 平成15年～		
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[直営、一部民間団体と共同で実施]			
実施期間	平成27年7月18日(土)から平成27年7月27日(月)			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	佐世保市の青少年・市民、姉妹都市(アルバカーキ市)の青少年・市民		相互の短期ホームステイを通して、本市と海外姉妹都市等の文化を体験し、国際理解の促進、友好親善の深化を図る。	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	米国アルバカーキ市(姉妹都市)の中高生が、本市の中高生宅にホームステイしながら、本市および市外の視察・見学や交流行事、イベントなどに参加して日本文化体験や異文化交流を行い、受入側生徒やホスト家族、交流事業参加者を含めて参加した市民の国際感覚の醸成に寄与するとともに、海外姉妹都市との相互理解や友好親善を深めた。			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	佐世保市は、米国アルバカーキ市と昭和41(1966)年に姉妹都市を提携し、平成28(2016)年には姉妹都市提携50周年を迎える。これまで民間団体の市民間交流のほか、節目には行政主導の周年事業を行い、親善を深めてきているが、アルバカーキ市との相互理解や友好親善を深めるため、行政交流だけではなく、市民レベルでの交流の拡大・深化を図っていく必要がある。			
(経緯・現状)				
佐世保市とアルバカーキ市との市民レベルにおける交流の一つとして、中学生同士の相互ホームステイによる交流事業が始まった。アルバカーキ市とは平成14年度(平成15年)に受入を行ったのを嚆矢とし、その後派遣は平成17年、平成22年、平成26年に、受入は平成19年、平成24年、平成27年(今年)に行っている。参加生徒の多くが、外国文化に興味を持つようになったと答えており、異文化理解に関心を深めるなど、国際的視野の醸成に寄与している。今年度の派遣は交流事業の企画や引率などで民間団体の協力をいただきながら実施した。				

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費 (円)			4,052,518	1,709,673					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他		1,957,144	1,004,059					
	市町振興共同事業助成金		1,676,299	564,491					
	一般財源		419,075	141,123					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	姉妹都市等の生徒・市民、行政関係者との交流人数	姉妹都市等の中高生達が直接会って交流することが、相互理解を深める契機となるため	人	目標		60	70	
					実績		100	114	
				目標達成率 (%)			167%	163%	
	②					目標			
						実績			
目標達成率 (%)									

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input checked="" type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 		(影響内容、程度等) 姉妹都市等の中高生達が直接会って交流することができなくなり、国際理解を深めていくことが難しくなる。	

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		本市とアルバカーキ市の中高生達が相互理解を深めるため、積極的に各種の交流を行った。
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input type="checkbox"/> 工夫の余地がある 実施予定 期 日	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		アルバカーキ市の生徒受入れについては、市民団体である佐世保・アルバカーキ姉妹都市協会との共催事業としたため、経費の多くを同団体が負担することで節減が達成された。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		今年度は、会食等においては(本市側出席者は)参加者負担額を取り入れるなどして節減を図った。来年度以降に派遣を行うことが決定した場合、参加者には半額の自己負担をお願いする予定。	

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施(予定)時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	本事業は、米国姉妹都市アルバカーキ市と本市の青少年が、相互にホームステイをしながら市内視察やイベント、交流会を行う中で交流を深めていくもので、参加生徒の多くが国際的視野を持つようになり、保護者や協力している市民団体からの評価も高く、これまでの実績から、本事業の継続を願う声も強いことから、今後とも継続していきたい。また、参加生徒だけでなく、ホスト家族や学校にとっても異文化との交流を行う貴重な機会となることから、今後もアルバカーキ市および現地の交流団体、本市側の市民団体と連携し、有効性が一層向上するように事業を進めていきたい。				